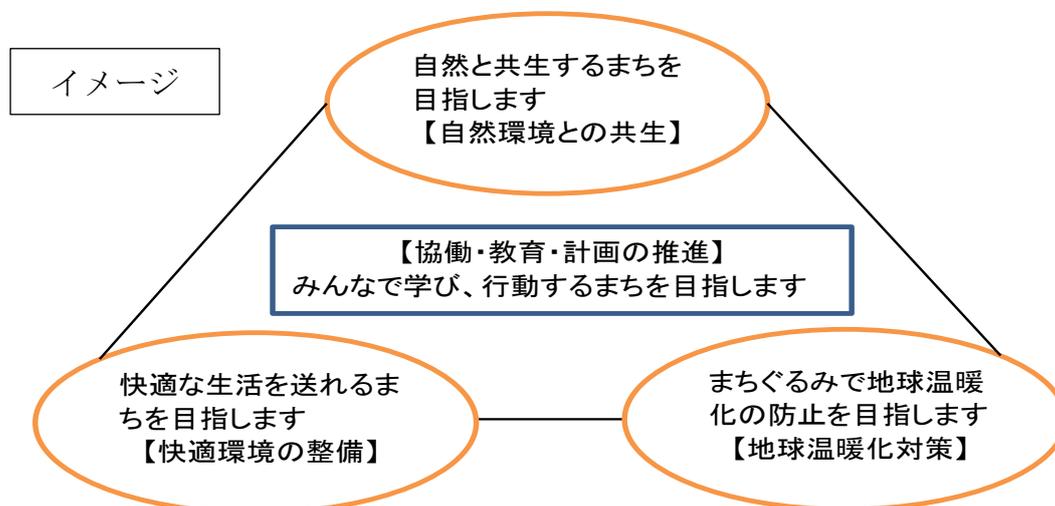


第 2 次富士見市環境基本計画の中間見直しに伴う施策体系について

1 現行計画

望ましい環境像	いのち豊かな里・湧き水のまち 富士見
基本目標	1. 自然と共生するまちを目指します (良好で持続可能な環境の社会構築)
	2. 快適な生活を送れるまちを目指します (快適な安全安心な生活環境の社会構築)
	3. まちぐるみで地球温暖化の防止を目指します (低炭素社会・循環型社会の構築)
	4. みんなで学び、行動するまちを目指します (協働社会の構築)



2 見直しに当たっての考え方

(1) 基本目標の順位

環境分野を取り巻く状況の変化に合わせて次のとおり掲載順位を見直す。

→①地球温暖化対策、②自然環境との共生、③快適環境の整備、④協働・教育・計画の推進

(2) 取組内容・実践行動の整理

審議会等での意見を踏まえ、次のとおり項目を整理する。

自然環境との共生

→自然的空間及びそこに生息・生育する動植物等に関する取組

(例) 動植物、生態系、生物多様性、生息・生育空間、水辺環境、湧き水など

快適環境の整備

→日常的な生活空間に関する取組

(例) 公害、有害物質、環境美化、公園・緑地整備、不法投棄対策、交通インフラ整備、災害廃棄物など

地球温暖化対策

→地球温暖化対策に直接的に繋がる取組

(例) 緩和策、資源循環、再生可能エネルギー、省エネ、スマートムーブなど

協働・教育・計画の推進

→環境教育・環境学習、体験・イベント、講習等の行動的な取組

(3) その他

- ・環境分野と直接的に関係のある計画以外は削除する。なお、他の計画内容を残す場合には表現を工夫する。
- ・重複する取組については「再掲」と表示する。
- ・市民及び事業者の実践行動については実態に即したものとなるよう再検討するとともに、表記方法についても見直す。
- ・計画書目次案は参考資料1のとおり